

令和 元年 7月 31日

守谷市議会議長 殿

委員長：市川 和代 印

報告者：高梨 恭子 印

議会運営委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ ○参加 したので報告します。

視察・研修日	令和元年7月30日
視察・研修場所	沼田市役所 第二委員会室
視察・研修項目	<ul style="list-style-type: none">・沼田市の議会改革について・議会図書室と公立図書館との連携について・子ども議会について
参加者	守谷市側 市川和代、青木公達、高橋典久、伯耆田富夫、佐藤弘子、川名敏子、渡辺秀一、高梨恭子 議長：梅木伸治 議会事務局長：高橋、同補佐：山崎
	相手側 議会事務局長：小菅、同副主査：小林 沼田市立図書館長：高井、同図書館員：星野 秘書課広報広聴係長：武井（敬称略）
視察・研修目的	沼田市の議会改革について学ぶ。特に「議会図書室」および「子ども議会」について。
視察・研修内容	◆小林副主査から議会改革について 平成26年9月に議会改革特別委員会にて議会基本条例等の検討（H.27.12 沼田市議会基本条例制定。H.28.6 一般質問の一問一答方式導入。H.28.9 議会だよりを行政情報アプリで公開開始。 平成31年3月に定数及び議会改革全般の検討（H31.2 議会業務継続計画（BCP）に伴う防災訓練の実施他 令和元年5月～議会改革全般の検討（R1.5 新庁舎オープンに

伴い、映像配信用カメラ、採決システム、市民利用用設備等を整備)

◆星野図書館員から議会図書室について

平成 26 年度、議会事務局職員にたまたま司書資格を持った人が配属となり既存蔵書の確認・整理等が開始された。

平成 29 年度より図書館との連携が開始され、図書館の担当者が 2～3 か月に 1 度ずつ、80 冊程度の本を選んで議会図書室に配本を行っている。40 万冊の中から議会や議員の方々への情報資料として 80 冊選ぶのは大変な作業である。

◆武井広報広聴係長から子ども議会について

平成 14 年から小中学生を対象にして一般質問形式で開始した (14 校から各 2 名で 28 名)。平成 28 年からは高校生も加え同じ方式で開催 (小 11 校、中 9 校、高 4+1 校から各 1 名で 25 名)。毎年 11 月の第 1 土曜日に開催。主催は秘書課広報広聴係、教育部学校教育課、議会事務局。

若者の意見を聞く、市政に関心を持つ、主権者教育、議会に親しみを持つなどのねらいがある。この会議に出たことから市役所職員になった方もいる等の効果も。

【質疑応答】

Q. 子ども会議への出席者はどのように選び、どのくらいの打ち合わせがあるか。

A. 年に 1 度 11 月の最初の土曜日に開催。夏休み前に代表者を決めて質問を用意してもらう。開催 1 週間前にリハーサルを行う。

Q. 質問の長さはどのくらいか。また再質問はあったのか。

A. A4 の原稿用紙 1 枚程度で、時間は 2 分くらいの質問時間である。回答は事前に知らせていないことから、再質問は出にくいし、出たことはない。

Q. 議会図書室の予算についていつからで、いくらなのか。

A. 平成 27 年度から予算化され、毎年変わらず 54000 円である。

Q. 公文書としての管理は

A. 電子化は会議録のみで、常任委員会は行っていない。閲覧については可能 (議会事務局情報公開制度にのっとり)。

<p>視察・研修総括 (今後の取組み 等)</p>	<p>沼田市の取組として、守谷市議会で行っていない議会図書室と図書館の連携や、子ども議会について、今後の取組として考える必要がある。良い部分は学び実行できるようにすべき。</p>
-----------------------------------	---